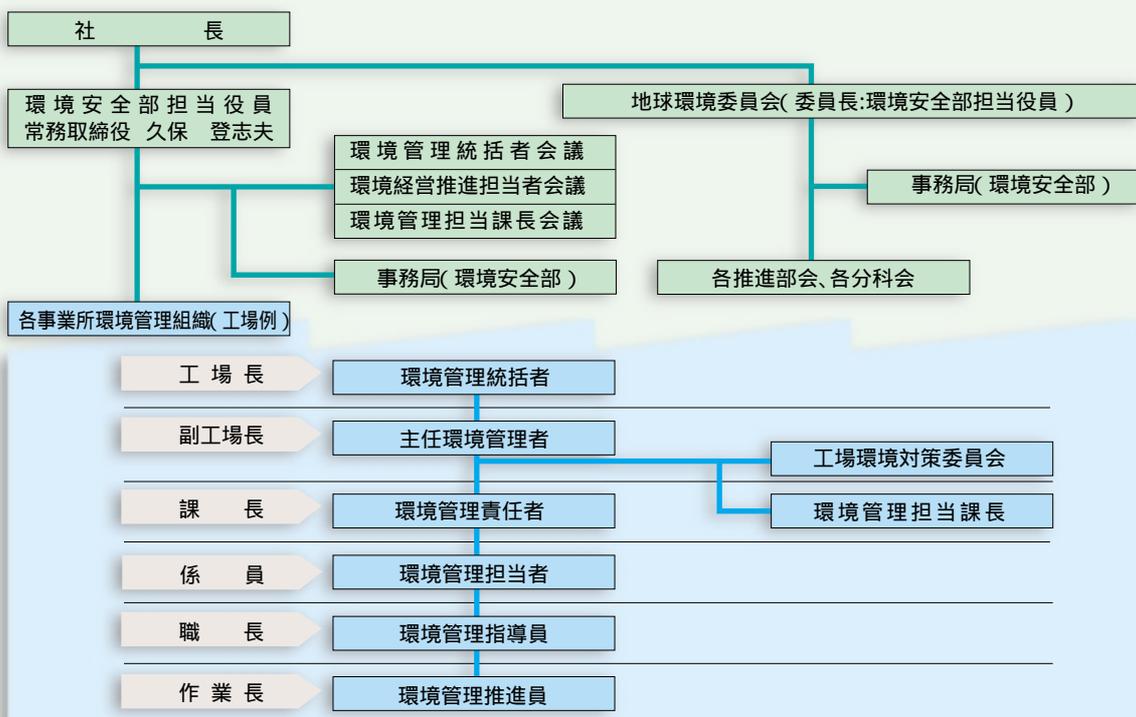


## 環境管理体制

クボタでは、担当役員のもとに環境保全・安全衛生を推進する環境安全部を設置し、工場・事業場には、環境管理担当課を設置し、地球環境・地域環境問題に対応しています。環境管理

統括者会議では、全社環境基本方針・目標設定の審議等を行っています。



目的別に別途推進体制を設け推進しています。

## 環境活動目標と実績

環境調和創造企業をめざして、環境基本方針と重点推進事項を定めています。そして、その重点推進事項に従って環境活

動目標を定め、達成に向けて活動を推進しています。

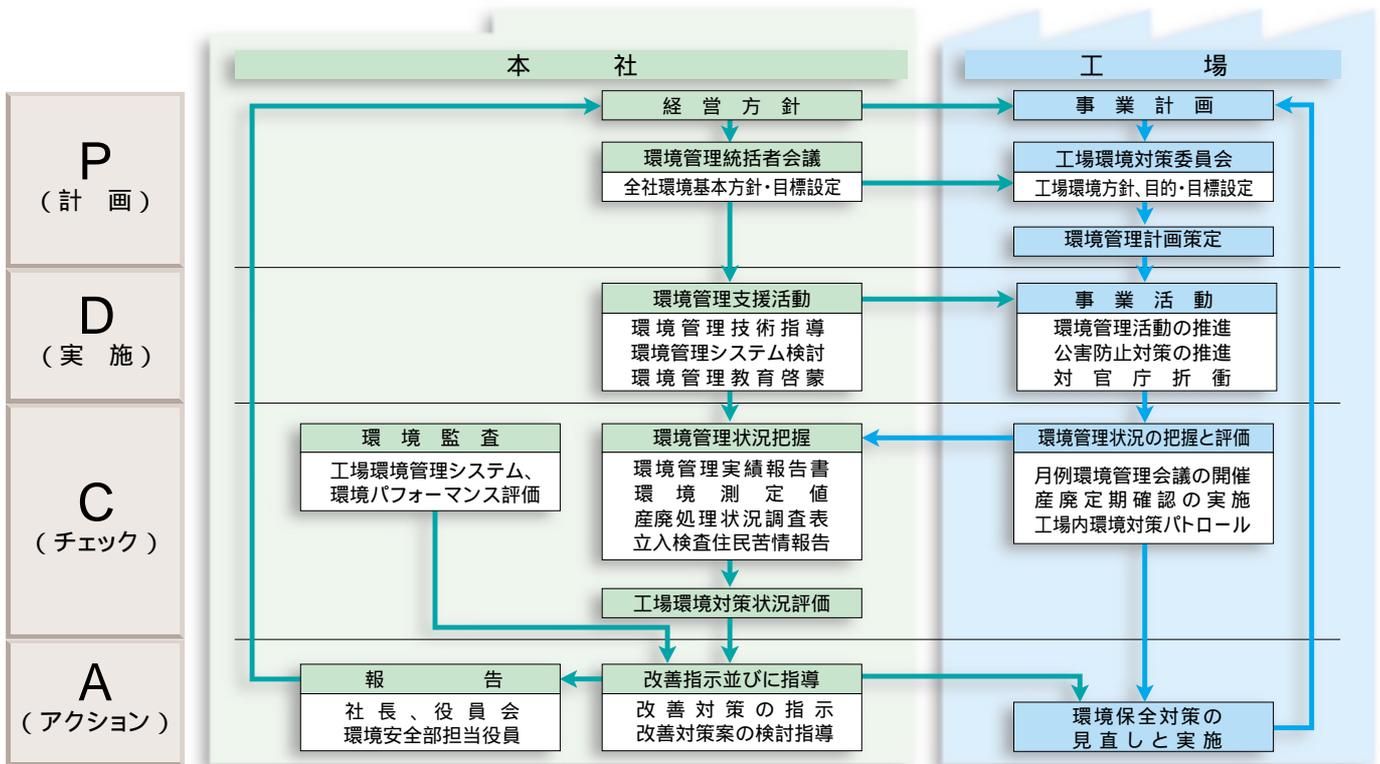
環境活動目標と1999年度の実績は右記の表の通りです。

項目	目標	1999年度実績
1. 省エネルギー対策	エネルギー - 原単位及びCO <sub>2</sub> 排出原単位 1998年度基準 5年間(1999~2003)で5%以上削減 エネルギー - 原単位 = 原油換算エネルギー - 使用量 / 内作生産高 CO <sub>2</sub> 排出原単位 = CO <sub>2</sub> 排出量 / 内作生産高	エネルギー - 原単位 1.1%削減 CO <sub>2</sub> 排出原単位 3.1%削減
2. 産業廃棄物削減	処理・処分廃棄物量(埋立・焼却等)1994年度基準 2000年度30%削減	33%削減
3. ISO 14001 認証取得	2000年度までに国内全20事業所においてISO14001を認証取得する	15事業所
4. 大気・水質管理	法・条例規制値よりも厳しい自主基準設定と遵守	自主基準内
5. 作業環境管理	騒音:第3管理区分職場数を1996年度基準 2000年度半減 118職場 59職場	62職場

## クボタ環境マネジメントシステム

1972年からTPC( Total Pollution Control )全員参加による環境マネジメントを推進してきましたが、1995年にISO14001に準拠した環境マネジメントシステム「KEMS」

( Kubota Environmental Management System)を導入し、全事業所における環境マネジメントシステムの構築とISO14001の認証取得を推進しています。



## クボタの環境保全活動の歩み

- 1999年 環境報告書発刊
- 1998年 全作業員に環境意識アンケート調査実施  
環境家計簿運動開始
- 1997年 ISO 14001 認証取得
- 1996年 環境ホームページ開設
- 1995年 環境管理規程の改定
- 1994年 環境監査制度の見直し、充実
- 1993年 環境自主行動計画策定
- 1992年 地球環境憲章制定  
地球環境委員会設立  
第1回地球環境大賞産経新聞社賞受賞
- 1991年 社内環境功績賞制定  
日経ビジネス環境ランキング1位
- 1984年 作業環境管理組織の整備強化
- 1978年 公害管理部を環境管理部と改称
- 1973年 中央公害パトロール( 監査 )制度発足
- 1972年 本社に公害管理部、全工場に公害管理課設置



第1回地球環境大賞を受賞

## 外部表彰事例

### ガス化溶融システム実証プラントが

ウエステック大賞審査委員長特別賞( 1999年11月23日 )

実証プラントは処理能力が1日当たり20tで、30日連続運転を含む約180日間運転を実施しました。この間、排ガスのダイオキシン類濃度0.05ngTEQ/m<sup>3</sup>N以下と自燃( 外部燃料不使用 )を達成し、高性能と経済性運転を実証しました。

### ディーゼル用芝刈り機が

仏国際農業機械展示会( SIMA)で金賞を受賞( 1999年9月15日 )

当製品は、消費馬力が少なく、湿った草も高能率に集めることができ、低騒音であるという新コンセプトが評価されました。



表彰状